大阪 北摂

大阪本社社会部
☎06(6231)0131(代)
fax 06(6201)3143
mail:o-syakai3@asahi.com
広告(土日祝除く)
大阪朝日広告社
06(6205)8080
折り込みは
朝日オリコミ大阪
06(6226)1290
購読のお申し込み 配達お問い合わせ
0120-33-0843
(7:00〜21:00)

生と死「命」語り続ける

祖父亡くした豊中の住職 谷真光さん

阪神・淡路大震災から27年

阪神・淡路大震災から17日で27年。豊中市にある豊中不動尊の住職、谷真光(たにしんこう)=本名、真光(まさみつ)=さん(43)は当時、兵庫県西宮市で倒壊した家の下敷きになり、一緒に暮らしていた祖父を亡くした。なぜおじいちゃんは死んだのか。生と死とは何か――。住職になってからもずっと自問を繰り返し、今は命の尊さを語り続けている。

今月9日の早朝、豊中不動尊の本堂に読経の声が響き渡っていた。午前7時過ぎ、読経が終わると、谷さんは集まっていたマスク姿の檀家(だんか)の人ら10人余りを前に、27年前の震災の体験を振り返り、こう呼びかけた。

「いまある命は当たり前ではなく、ありがたいこと。命ある限りは自分の役目が何かを考え、しっかりと果たして頂きたい」

●●●

西宮市上ケ原五番町にある神光寺の長男として生まれた。住職だった祖父の章栄(しょうえい)=本名、光(あきら)=さんは幼い真光さんをよく抱っこし、かわいがってくれた。本堂を拭き掃除したり、境内をほうきで掃いたり。朝のお勤めも欠かさない人だった。

真光さんが中学生になると、両親と姉の家族4人で暮らしていた寺務所兼庫裏が手狭になり、本堂のすぐそばにある木造2階建ての母屋で、祖父母と暮らすようになった。

震災の当時は高校1年生だった。2階で寝ていて、大きな揺れで目覚めた。暗闇の中で体の上に何かが落ち、仰向けのまま動けなくなった。揺れが収まると、水を打ったように静かになった。「また揺れて何かが落ちたら、死ぬな」。不思議と冷静にそう考えた。

ただ、「生きてるかあ」と父の声が聞こえた瞬間、「助かるかも」と思ってパニックになり、「助けてくれ!」と声を張り上げた。

周辺の住宅も地震で被害に遭うなどし、自分の上にあったがれきを取り除くのは父一人だけだった。待つ間に「おじいちゃん、生きてるか!」と声をかけたが、1階に祖母といた章栄さんの返事はなかった。

真光さんは1時間ほどかかって救出され、大きなけがもなかった。祖母も昼ごろに助け出され無傷だったが、隣で見つかった章栄さんは家のはりの下敷きとなり、すでに事切れていた。73歳だった。祖父の姿を見て、父がつぶやいた。

「人間は無力やな」

そばにいる人ひとりさえ助けられない無念さがにじみ出ていた。その言葉はいまも鮮明に耳に残っている。

母屋だけでなく寺務所兼庫裏や納屋なども大きな被害を受けたが、両親と姉は無事だった。火葬場が混み、すぐに祖父の遺体を荼毘(だび)に付すことができず、家族と一緒に1週間ほど、被害が少なかった本堂で寝泊まりした。

●●●

無事だった祖母と、その隣で命を落とした祖父。生と死が隣り合わせにあるのを目の当たりにした。なんでこんなことになるんや――。意気消沈する親には話せず、「本堂の仏さんにずっと文句を言っていた」。

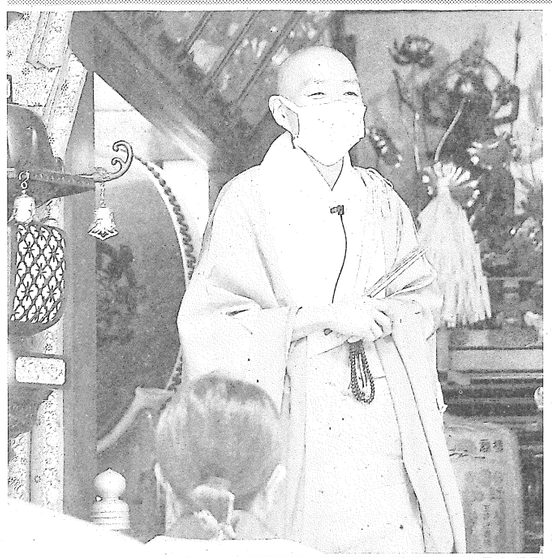
高野山大学密教学科に進み、卒業後は京都の醍醐寺の伝法学院で修行した。その後、父が僧侶として長年働いていた豊中不動尊の住職が病死したのを機に同寺で働き、2005年末から住職に就いた。

3年ほどたってから、毎年1月17日前後に震災の体験を話すようになった。

生と死とは何か。震災の時に答えが出なかった問いを続けた。人は死のうと思わなくてもいつか死ぬ。とても不安定な世界に生きていることが奇跡で、この命をいかすのが大切じゃないか。祖父の死を無駄にせず、震災の話を人前でするのが自分の役割だ。長い時間をかけ、たどり着いた。

「悲しむよりも、おじいちゃんの死を受け入れて、それをいかし、地に足をつけて生きる姿を見せる。供養になるし、『ありがとう』と言ってくれるやろうなと思う」

(瀬戸口和秀)



(上)震災の体験を語る谷真光さん=豊中市の豊中不動尊
(下)幼い頃の谷真光さん(右)と祖父の章栄さん=真光さん提供

「悲しみ無駄にしない」自分の役割

地震で倒壊した母屋。谷真光さんや祖父の章栄さんらが下敷きになった=1995年1月、兵庫県西宮市、真光さん提供

淀川工科高校吹奏楽部の定期演奏会。ダンスも交えて観客を盛り上げた=大阪市北区

丸谷先生と共に 熱演

淀工吹奏楽部 50回目グリコン

府立淀川工科高校(淀工)吹奏楽部の定期演奏会「グリーンコンサート」(グリコン)が15、16両日、大阪市北区のフェスティバルホールで開かれた。約140人の部員は、淀工を長年指導し昨年12月に亡くなった丸谷明夫さんをしのびつつ、演奏やダンスで観客を魅了した。

50回目を迎えた今回のコンサートでは、丸谷さんへの追悼曲として「翼をください」をオープニングに演奏。下級生も踊りでパフォーマンスに加わり、在りし日の丸谷さんをしのんだ。

出場を辞退した昨夏の全日本吹奏楽コンクール関西大会の自由曲として選んだバレエ音楽「ダフニスとクロエ」第二組曲も披露した。「回復した丸谷先生の指揮で、最高の演奏をしよう」と約束していた曲だ。

後半は「明日があるさ」「ふるさと」「幸せなら手をたたこう」などを演奏。観客も手拍子を送って一緒に楽しんでいた。

キャプテンの加島泉吹さん(3年)は、良い演奏が丸谷さんへ恩返しになると思って練習してきた。「感謝の気持ちと、後ろを向かずに進んでいきます、と伝えられたと思う」。同じくキャプテンの黒木健人さん(3年)は、演奏中、丸谷さんが指揮を振る姿が目に浮かんだ。「下手な演奏はできないと思ってやりました」と話した。

(甲斐江里子、堀之内健史)

新型コロナ

感染者過去最多 2日連続で更新

府が16日発表した新型コロナウイルスの感染者は3760人だった。1日あたりの感染者数は2日連続で過去最多を更新した。年代別では20代が1383人と最多で、次いで10代581人、30代487人、40代413人だった。死者は確認されなかった。

新型コロナウイルスの状況

16日 府発表

感染者	222,926人	(+3,760人)
死者	3,069人	(± 0人)
重症者	9人	(± 0人)

府確保の重症病床は612床

【感染者の内訳】大阪1428、堺237、東大阪208、枚方174、吹田143、豊中113、茨木105、寝屋川88、八尾85、高槻82、岸和田67、松原・和泉57、大東56、守口51、泉佐野50、箕面49、門真45、富田林43、柏原40、交野39、貝塚36、羽曳野35、摂津32、池田27、泉大津24、高石22、

「子や女性守る」8つの重点目標

府警署長会議で本部長

府下の署長らに本部長が今年の目標などを伝える署長会議が14日、府警本部で開かれた。新型コロナウイルスの影響で各ラインで参加した。志本部長は刑法犯の数が減少している一方で、「引き続き徹底しなければならない」と訴えた。

昨年11月の署長会議は、年10カ月ぶりに開かれ、全66署の署長が参加したが、感染拡大のため再びオンラインで開かれた。14日は、府公安委員長が出席し、対応をお願いしたいとの相談受理などを呼びかけた。井上嘉浩本部長は2022年の重点目標として、「子供や女性を守る」「組織的犯罪に立ち向かう」「組織的犯罪を断じ込める」などを挙げた。

(瀬戸口和秀)

ニュースフラッシュ

◆電動自転車の2人が疑で逮捕 阪市内の民家で電動自転車のバッテリーで逮捕したいずれも工の男性(41)と無職について、大阪地起訴(嫌疑不十分)を表した。理由につい尽くしたが、起訴での事実が認定できとしている。2人は年11月に処分保留いた。

第34回蘭亭書道展 作品募集

回蘭亭書道展なだ家の色紙雅を基を、漢む)で◇作◇出校生は◇応多区博チャー・7◇入朝日カ(www)で(福岡